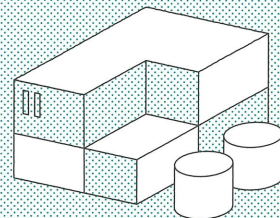
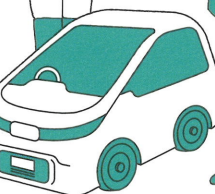
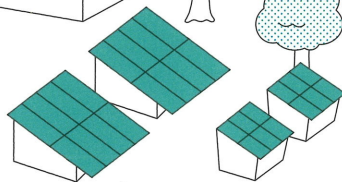
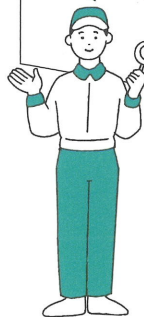
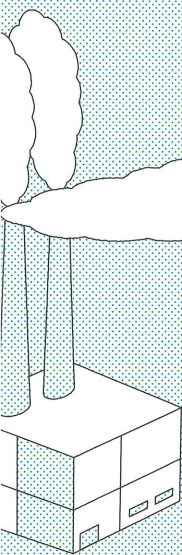
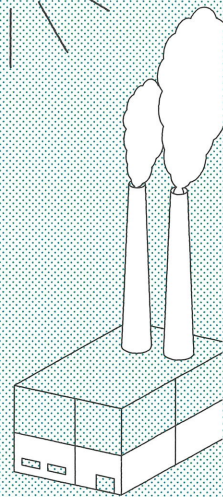
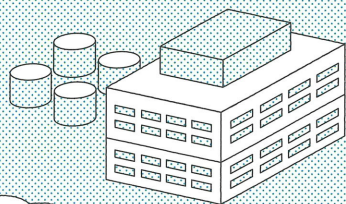
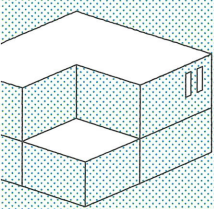


脱炭素

はじめるガイド



脱炭素経営って何から始めたらいいの？

令和2年10月の国による2050年カーボンニュートラル宣言以降、脱炭素化に向けて多くの企業が積極的に取組みを進めています。「そもそも、脱炭素ってなんだろう？」

「何から始めたらいいのだろう？」「みんなはどんなことをしているのだろう？」

そんな疑問を持っている皆さんに向けて、岐阜県内で脱炭素化に取り組む事例をパンフレットと動画で詳しく紹介します。

そもそも“脱炭素”ってどういうこと？

温室効果ガスであるCO₂(二酸化炭素)などの排出量を削減する取組みのことです！

「脱炭素」とは、地球温暖化の原因となっているCO₂をはじめとする温室効果ガスの排出量を削減するための取組みを指します。現在は、将来の世代が安心して暮らせる環境保全のために、省エネ化や再生可能エネルギーの活用など、さまざまな方法で「脱炭素経営」に取り組む企業が増えています。また、排出したCO₂を吸収する作用が得られる植林や森林管理といった森林保全活動にも取り組まれています。

公益社団法人
岐阜県森林公社

COMPANY

地球温暖化の緩和、森林が水を貯える機能といった森林の多面的機能を高度に発揮させるため、森林の整備を行っている。

住所 岐阜県美濃市生櫛1612-2
TEL 0575-33-4011
WEB <https://gifu-shinrin.or.jp/>

森林が吸収する温室効果ガスの量を「クレジット」として発行！

脱炭素社会のためのJ-VER制度とは？

平成20年に環境保全を目的に環境省が開始した制度です。省エネルギー設備などによる温室効果ガス(CO₂等)の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量について売買可能な「クレジット」として国が認証する仕組みです。排出事業者等が削減したいCO₂等の量に相当する「クレジット」を購入することで、排出量を埋め合わせることができます。これを「カーボン・オフセット」といいます。平成25年に経済産業省・環境省・農林水産省が運営するJ-クレジット制度に移行しました。

具体的な取組みは？

岐阜県森林公社は、昭和40年代前半から植林を行い、1万4千haの森林を管理する団体です。平成24年に、郡上市大和町、本巣市、加茂郡白川町の造林地で間伐プロジェクトに基づくJ-VER制度の認証を受けました。脱炭素社会実現のためには、森林のCO₂等吸収能力は非常に重要です。引き続き、間伐によって健康な森を育て、CO₂等吸収量を増やす取組みを行っています。

今後の展望は？

現時点では、CO₂等排出量の削減を果たす法的義務はありませんが、国の「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」とのカーボンニュートラル宣言以降、クレジットの問い合わせが増加しています。現在、新たなクレジットの認証を受けるための測量や解析作業を行っていますが、森林経営計画に基づく森林管理が前提となります。適切な森林管理により温室効果ガスの吸収などの公益的機能が持続的に発揮されるよう努めていきます。



1 植林後、約50年のヒノキ。間伐してあり綺麗に並んでいる。2 幹の太さを測り、成長を確認の様子。3「クレジット」購入者に贈呈するヒノキの感謝状。



岐阜県は全国有数のヒノキ生産地のため、当公社の植栽も半数以上をヒノキが占めています。加工性に優れ、シロアリなどに対する耐久性もあり、木材の価格が高いというメリットもあります。

坂下さん

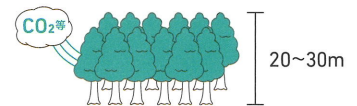
坂本さん



脱炭素化の取組みを
YouTubeで配信中!



CO₂等排出量1トンとは？



樹齢50年の杉71本が
1年間に吸収する量に相当します。

公益社団法人 岐阜県森林公社

TEL 0575-33-4011

内線 413

豊かで親しみのある森林づくり
飛騨と加賀を結ぶ白山白川郷ホワイトロード

《お問い合わせ》 TEL058-272-8835

岐阜県商工労働部 商工・エネルギー政策課

※令和4年3月までは、新産業・エネルギー振興課

発行：令和4年3月 〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

